

<研究名称>

救急搬送され入院となった誤嚥性肺炎患者の中で、入院中に食事を開始できなかった患者と開始できた患者の要因を明らかにする。

<研究申請者>

看護部 松本 有気

<研究期間>

平成 29 年 4 月～平成 30 年 5 月

<研究の目的・意義>

誤嚥性肺炎患者の入院時のデータから入院中に食事を開始できるかどうかの要因が明らかになると、誤嚥性肺炎患者に対して食事開始を目標とした入院早期から摂食嚥下の介入ができる。

<実施内容（方法）・危険性（副作用）等>

平成 29 年 4 月～平成 30 年 5 月までに誤嚥性肺炎と診断され緊急入院となった 27 名の入院中の情報を電子カルテから必要な調査項目を収集する。

<実施責任者・実施に関わる者の氏名>

責任者 看護師長 三上 淳子

研究者 看護師 松本 有気、橋崎 真右子、阿部 美香、福田 香、大塚 操

<倫理上問題になると考えられる事項、その他特記事項>

なし

<IC のための説明・同意に関すること>

本研究は記録の振り返り調査となるため、事前に患者に説明、同意取得はしていない。情報収集するときは患者を記号化し、個人が漏れることができないよう実施する。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙 1 条 1 丁目 1 番 1 号

旭川赤十字病院 看護部 松本 有気

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648